

平成 23 年度東北地域災害科学研究集会で当センターのメンバーが研究発表を行いました (2012/1/7-8)

1月7日(土)～8日(日)の2日間、岩手大学農学部5号館(岩手県盛岡市)で「平成23年度東北地域災害科学研究集会」が開催されました。同研究集会は、自然災害研究協議会という自然災害研究者のネットワーク機関を構成している6つの地区部会の一つである東北地区部会が主催しているもので、年に1回開催されています。日本自然災害学会学術講演会の東北支部大会という位置付けがあり、研究発表による情報共有や交流が行われています。地区大会を行なっている支部は2地区のみであり、東北支部はそのうちの1地区で、活動が活発に行われている支部でもあります。本研究集会は、同時に公開シンポジウムを開催しており、今年度は「東日本大震災復興への取組み」と題して招待講演が5件行われました。研究集会とシンポジウムあわせて123名が参加しました。例年、集会全体で30～50件程度の研究発表が行われていましたが、2011年東北地方太平洋沖地震・津波(東日本大震災)の影響を受けて、65件の発表が行われました。そのうち、当センターからは、11件の研究発表を行いました。各発表者の題目は次の通りです：

研究発表題目

- 佐藤健, 源栄正人：学校の災害安全に関する東日本大震災からの教訓
柴山明寛, 佐藤翔輔, 今村文彦：東日本大震災における災害アーカイブに関する研究
今井健太郎, 菅原大助, 今村文彦：津波痕跡と史料から解釈した1611年慶長地震モデル
佐藤翔輔, 今村文彦：東日本大震災における震災復興計画の市町村間比較分析
押切拓也, 真野明, 有働恵子：大川地域における洪水予測精度の検討
坂本拓也, 磯部亮太, 源栄正人, 柴山明寛：アンケート調査に基づく2011年東北地方太平洋沖地震における本震と余震の揺れの実態調査
白鳥総一郎, 真野明, 有働恵子：ポリピアTuni湖集水域での蒸発量の推定
濱崎喜有, 柴山明寛, 大野晋, 岡田成幸*, 佐藤健, 源栄正人：東日本大震災における被災建物の悉皆調査
吉田和史, Tsoggeri TSAMBA, 源栄正人：2011年東北地方太平洋沖地震における被害建物の振幅依存振動特性
吉田淳, 有働恵子, 真野明：日本の5海岸における過去100年間の砂丘侵食特性と気候変動による100年後の侵食予測
村山良之, 佐藤健：東日本大震災学校ヒアリング調査報告書を用いた教員向けプログラムの試み

下線はセンター構成員、*印はセンター客員、
連名者は筆頭者とセンター構成員のみ掲載。



会場の様子